第2部　各個研究

1）気質アンケートによる精神発達遅滞の診断

庄司順一　都立母子保健院

乳児健診における発達障害児の早期発見・早期診断を目的とした行動の評価法としては、①検査および行動観察、②親の報告の2法がある。乳健においては、これらの方法は両者とも不可欠といえる。

筆者は、精神遅滞（MR）のリスクのある児の早期発見・早期診断の一助となる評価法を確立するために今年度は発達障害児の乳児期の状態を明らかにしようとした2、3の文献を検討した。

その結果、自閉症児、言語遅滞児および精神遅滞児の乳児期の状態像に関して一定の行動特徴が認められるようであり、しかしその行動特徴はこれらの群においても大差なく、しかも重症度にも影響されないようであった。

そこで、これらの研究を参考にし、筆者のこれまでの研究や臨床経験をも加味して、別表の如く、MRのリスクをもつ児の行動特徴をとらえるための質問表を作成した。この質問表の項目は、従来発達障害児の乳児期における行動特徴として認識されてはいても、組織的な検討はおこなわれていなかったものである。また各項目は、従来検討されてきた「能力」（ability）というよりも、むしろ最近注目されている「気質」(temperament)に関するものといえる。そういう意味で、この質問表は従来とは異なった視点から作成されているといえる。

気質アンケート

記入の仕方　次の各項目について、お子さまの最近1か月間のようすにもとづいて、右欄の1～4（または1～3）のうち、お子さまに一番あてはまる番号を丸(○)で囲んで下さい。

1. 母乳またはミルクの飲みは	非常に悪い 1	どちらかというと悪い 2	どちらかというとよい 3	非常によい 4
2. 泣くことは	非常に少ない（ほとんど泣かない） 1	どちらかというと少ない 2	どちらかというと多い 3	非常に多い（よく泣く） 4
3. 泣き声の強さは	非常に弱い 1	どちらかというと弱い 2	どちらかというと強い 3	非常に強い 4
4. 敏感さ（音や光、味、温度などに対する）は	非常に敏感（過敏） 1	どちらかというと敏感 2	どちらかというと敏感でない 3	非常に敏感でない 4

5. 睡眠は	眠ってばかりである 1	眠っていることが多い 2	かなりの時間 はっきりと目覚めている 3	
6. あやしたとき、笑うことは（ほほえむだけでよい）	あまりない 1	ときどき笑う 2	しばしば（ほとんどいつも）よく笑う 3	
7. 声を出して笑うことは	ほとんどない 1	ときどきある 2	しばしばある 3	
8. おとなしさ	非常におとなしい 1	どちらかというとおとなしい 2	どちらかというとにぎやか、うるさい 3	非常に にぎやか、うるさい 4
9. 手がかかるかどうか	非常に 手がかからない 1	どちらかというと手がかからない 2	どちらかというと手がかかる 3	非常に手がかかる 4
10. 声を出すことは（発声、 語）	非常に少ない 1	どちらかというと少ない 2	どちらかというと多い 3	非常によく声を出す 4
11. なだめやすさは（泣いたり、ぐずっているときのなだめやすさ）	非常になだめやすい 1	どちらかというとなだめやすい 2	どちらかというとなだめにくい 3	非常になだめにくい 4
12. 視線の合い具合は	視線が合わない 1	視線は時々合う 目をそらすことも、あるが、顔をじっと見つめることもある 2	顔をじっとよくみつめる 3	
13. オモチャの関心は	ほとんどない 手にもたない すぐに落としたり、投げすてたりする 1	多少の興味を示す 手にもたすとちらっとみる 特定のオモチャにのみ関心を示す 2	いろいろなオモチャに関心を示す 手をのばしてつかんだり握ったり、たたいたりして遊ぶ。 3	

14. 人見知りは （知らない人にあやされたり、抱かれそうになったとき）	全然しない だれに抱かれても泣かない 1	抱かれても泣かないが、身体をかたくしたり、顔をじっと見つめ、警戒する。 2	抱かれると泣き出す。あやされただけでは顔をじっと見つめ、警戒する。 3	激しい あやされただけでも泣き出す 4
15. あとおいは （お母さんがそばを離れ、しかもそばにだれもいないとき）	しない 平気で一人で遊びつづける 1	泣かないが、心配そうな表情で、母の動きを目で追う。 2	泣き出したり、這って母のあとをおってくる 3	激しく泣く 4
16. 名前をよぶと	振りむかない 気づかないよう 1	時々振りむかないことがある 2	すぐに振りむく 3	
17. 鏡の前に抱いて立つと	関心を示さない 1	じっと見つめる 2	鏡の中の自分や母に笑いかけたり、手をのばしたりする 3	
18 芸当は （アワワ、シャンシャン（手をたたきあわせる）、オツムテンテン、バイバイなど）	しない 1	1つの芸だけする 気が向いたときだけする 2	2つ以上の芸をよくする 3	
19. 指さしは （お母さんといっしょにいるとき、絵本を見たりしていて）	しない 1	たまにする 2	よくする 指さして、アーアー声を出す　指さしたものと母の顔を見比べる 3	
20. お母さんの指さす方を （例えば壁にかかった時計や絵など、少し離れたところにあるものを指さしたとき）	みない 1	たまにみる 2	よくみる 3	

何かくせがあったら　お書き下さい。

1～2か月	……項目	1～4
3か月	……	1～12
4～5か月	……	2～12
6～8か月	……	2～14
9か月	……	2～17
10～11か月	……	4～18
12～14か月	……	4～20
15か月	……	15～20

検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

乳児健診における発達障害児の早期発見・早期診断を目的とした行動の評価法としては、①検査および行動観察、②親の報告の2法がある。乳健においては、これらの方法は両者とも不可欠といえる。

筆者は、'精神遅滞(MR)のリスクのある児の早期発見・早期診断の一助となる評価法を確立するために今年度は発達障害児の乳児期の状態を明らかにしょうとした2､3の文献を検討した。

その結果、自閉症児、言語遅滞児および精神遅滞児の乳児期の状態像に関して一定の行動特徴が認められるようであり、しかしその行動特徴はこれらの群においても大差なく、しかも重症度にも影響されないようであった。